

平成29年陸別町議会第1回臨時会会議録（第1号）						
招集の場所	陸別町役場議場					
開閉会日時 及び宣告	開会	平成29年1月17日 午前10時00分			議長	宮川 寛
	閉会	平成29年1月17日 午前10時31分			議長	宮川 寛
応（不応）招議員 及び出席並びに 欠席議員	議席 番号	氏名	出席等 の別	議席 番号	氏名	出席等 の別
出席 8人	1	中村 佳代子	○	8	宮川 寛	○
欠席 0人	2	久保 広幸	○			
凡例 ○ 出席を示す ▲ 欠席を示す × 不応招を示す ▲⊗ 公務欠席を示す	3	多胡 裕司	○			
	4	本田 学	○			
	5	山本 厚一	○			
	6	渡辺 三義	○			
	7	谷 郁司	○			
会議録署名議員	多胡 裕司		本田 学			
職務のため議場に 出席した者の職氏名	事務局長 吉田 功			主任主査 吉田 利之		
法第121条の規定 により出席した者の 職氏名	町 長	野尻 秀隆				
町長の委任を受けて 出席した者の職氏名	副 町 長	佐々木 敏治		総務課長	早坂 政志	
	産業振興課長	副 島 俊樹		保健福祉センター次長	丹野 景広	
	総務課主幹	室井 猛壽				
教育長の委任を 受けて出席した者の 職氏名						
農業委員会会長の 委任を受けて出席し た者の職氏名						
議 事 日 程	別紙のとおり					
会 議 に 付 し た 事 件	別紙のとおり					
会 議 の 経 過	別紙のとおり					

◎議事日程

日程	議案番号	件名
1		会議録署名議員の指名
2		会期の決定
3	議案第1号	平成28年度陸別町一般会計補正予算（第10号）

◎会議に付した事件

議事日程のとおり

◎開会宣告

○議長（宮川 寛君） ただいまから、平成29年陸別町議会第1回臨時会を開会します。

◎諸般の報告

○議長（宮川 寛君） これから、諸般の報告を行います。
議会関係諸般の報告については、諸般報告つづりのとおりでありますので、御了承願います。

◎町長行政報告

○議長（宮川 寛君） 町長から、行政報告の申し出があります。
野尻町長。
○町長（野尻秀隆君）〔登壇〕 昨年の12月定例会以降、本日までの行政報告でございますが、お手元にお配りの書面のとおりでございます。
以上で、行政報告を終わります。
○議長（宮川 寛君） これで、行政報告を終わります。

◎開議宣告

○議長（宮川 寛君） これから、本日の会議を開きます。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（宮川 寛君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、3番多胡議員、4番本田議員を指名します。

◎日程第2 会期の決定の件

○議長（宮川 寛君） 日程第2 会期の決定の件を議題にします。
本件については、本日、議会運営委員会を開催し、本臨時会の会期について協議しておりますので、委員長より報告を求めます。

多胡委員長。

○3番（多胡裕司君）〔登壇〕 平成29年陸別町議会第1回臨時会の運営について、本日開催いたしました議会運営委員会において、慎重に協議しましたので、その結果について御報告をいたします。

今臨時会に町長から提出された議案は、平成28年度陸別町一般会計補正予算1件であります。

配付のありました議案の内容を勘案し、協議の結果、今臨時会の会期につきましては、本日1日とすることに決定をいたしました。

以上のお通りでありますので、議員各位におかれましては特段の御協力、御配慮をお願い申し上げます、御報告といたします。

○議長（宮川 寛君） お諮りします。

本臨時会の会期は、ただいま議会運営委員長からの報告のお通り、本日1日間としたいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（宮川 寛君） 異議なしと認めます。

したがって、会期は、本日1日間とすることに決定しました。

**◎日程第3 議案第1号平成28年度陸別町一般会計
補正予算(第10号)**

○議長（宮川 寛君） 日程第3 議案第1号平成28年度陸別町一般会計補正予算(第10号)を議題とします。

提案理由の説明を求めます。

野尻町長。

○町長（野尻秀隆君）〔登壇〕 議案第1号平成28年度陸別町一般会計補正予算(第10号)ですが、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,030万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ48億3,647万8,000円とするものであります。

以上、議案第1号の内容につきましては、副町長から説明申し上げますので、御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（宮川 寛君） 佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治君） それでは、私のほうから御説明を申し上げたいと思います。

議案第1号平成28年度陸別町の一般会計補正予算(第10号)は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第1条第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正予

算の歳入歳出予算の金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

繰越明許費の補正、第2条、繰越明許費の追加は、「第2表繰越明許費補正」による。

それでは、事項別明細書、歳出の6ページをお開きください。

6ページは歳出であります。2歳出、4款衛生費1項保健衛生費2目の保健衛生施設費、18節備品購入費、管理用備品であります。これは実は保健センターの中にあります公衆浴場用の衣類の乾燥機の更新でありまして、今の乾燥機は平成24年に購入しまして5年目になります。実は、先月の暮れに故障しまして使用ができないという状態でしたので、緊急を要するという事で今回補正予算、更新の金額7万5,000円を計上させていただきました。

6款農林水産業費1項農業費2目の畜産業費19節負担金補助及び交付金4,022万9,000円。これは補助金でありまして、畜産・酪農収益力強化整備事業でありまして、これは陸別のクラスター協議会への補助金となります。それで、お手元に資料を配付させていただいておりますが、資料ナンバー2をお開きいただきたいと思います。資料ナンバー2は畜産・酪農収益力強化整備事業でありまして、下に表がございますが、事業実施主体は、陸別町酪農・畜産クラスター協議会、取組主体名は有限会社北斗牧場、事業内容につきましては家畜飼養管理施設、乾乳分娩牛舎1棟1,005.94平米でありまして、事業費は1億3,219万2,000円。補助金ですが4,022万9,000円であります。その他として9,196万3,000円ありますが、歳出で説明したように4,022万9,000円は、後ほど歳入でも説明しますけれども、同額が補助金として入ってきます。実は、今回の補正に当たりましては国から道経由で内示がありました。本日議決をいただきましたならば、今後本申請に予算措置が必要ということもございますので、そういう指導もございましたので、今回臨時会をお願いして補正予算で計上をさせていただいております。

以上が資料の説明になりますが、歳入、予算書の5ページをお開ください。

5ページは歳入であります。

1歳入、12款使用料及び手数料1項使用料3目の衛生使用料1節の保健衛生使用料、公衆浴場使用料であります。先ほど歳出で説明しました乾燥機の更新にかかわる歳出の財源として、今回、公衆浴場の利用が伸びておりまして、その分7万5,000円を今回財源として補正をするものであります。

それから14款道支出金2項道補助金4目農林水産業費補助金1節農業費補助金4,022万9,000円、畜産・酪農収益力強化整備事業補助金であります。これは歳入歳出同額の補正予算となります。

それでは、歳入を終わりました予算書4ページをお開ください。

4ページになります。

4ページは第2表繰越明許費補正であります。追加となります。

6款農林水産業費1項農業費。事業名は畜産・酪農収益力強化整備事業。2億4,77

8万9,000円ですが、内容については資料ナンバー1をお開きください。資料ナンバー1であります。

これは畜産・酪農収益強化整備事業でありまして、これは下の表にございますが、補助金、表の中の右から2列目、補助金がございますが、一番下、2億1,484万9,000円、これは昨年9月定例会で議決をいただいております。実は、そのときも説明しましたけれども、この2億1,484万9,000円については、国の今年度28年度の補正予算でついた予算でありまして、28年度の実施内容につきましては一番上に書いてあり、事業内容のところで、平成28年度家畜飼養管理施設、導入舎170平米、事業費が2,937万6,000円、補助金が728万9,000円、その他として2,208万7,000円でございます。これが28年度で今、執行をしているところであります。

その下の事業内容の29年度分、家畜飼養管理施設、離乳舎から一番下の哺育ロボット40頭用1機までですね、これは29年度で執行するというので、事業費としては6億9,638万4,000円で、補助金が2億756万円、その他として4億8,882万4,000円であります。これも事業実施主体はクラスター協議会でありまして、取組主体は陸別町農業協同組合となりますが、それで、資料1の中の2億756万円の補助金と、資料ナンバー2にございますけれども補助金4,022万9,000円、これを合わせた2億4,778万9,000円が29年度への繰越明許となります。

ちなみに、資料ナンバー2の4,022万9,000円も国の今年度28年度の補正予算で予算がついているということですから、事業を29年度に繰越明許するという内容となります。

以上、雑駁な説明でありますけれども、議案第1号の説明を終わらせていただきます。

以後、御質問によってお答えをしたいと思いますので、御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

以上です。

○議長（宮川 寛君） これから、議案第1号平成28年度陸別町一般会計補正予算（第10号）の質疑を行います。

第1条、歳入歳出予算の補正全般について行います。

事項別明細書は、5ページから6ページまでを参照してください。

3番多胡議員。

○3番（多胡裕司君） それでは、お尋ねをいたします。

畜産・酪農収益力強化整備事業ということで、クラスター事業の中の取組みかなと思われましてけれども、前回、株式会社ユニバース、それと今回2件合わせて8億5,000万円近い事業費ということになるのですけれども、これで確認をしたいわけなのですけれども、固定資産税は町に対してどれくらいの税収があるのか、改めてお尋ねをいたします。

○議長（宮川 寛君） 副島産業振興課長。

○産業振興課長（副島俊樹君） 申しわけございません。その件については現在調べてお

りませんので、手元に数字がございませんので、今お答えすることはできません。

○議長（宮川 寛君） 3番、多胡議員。

○3番（多胡裕司君） 当町の標準税率というのは1.4%ですよ。

それで、事業費が落ちれば、恐らく幾らか数字が違ってくるのかなと思われるわけなのですが、ここら辺が非常に、7億、10億という事業費になりますと、町の公共事業としてもはるかに総額で大きな事業かなと思われま。

そして、やはり町内業者に対してもいろいろな感じでメリットはあるということで、非常に建て主のほうからもこれだけの事業費、また確認申請が必要な建物が当然のわけですから、当然耐用年数も30年、31年くらいかなと思われるわけなのですが、そこら辺も含めて、町としてやはり大きな固定資産税の額になるのかなと思われま。そこで、やはり固定資産税の据え置きですとか、固定資産税の減免ですとか、やはり町としては税収は見込めるわけなのですが、これだけの大きな事業ですから、少しそこら辺も含めて何かお考えはないのかということをお尋ねいたします。

○議長（宮川 寛君） 副島産業振興課長。

○産業振興課長（副島俊樹君） これらの件に関しては、今後いろいろ調べて行きたいというふうに考えております。

○議長（宮川 寛君） 3番、多胡議員。

○3番（多胡裕司君） やはり、これも一応こうやって議会の承認を得て、初めて事業主という形ですので、町としてもこれだけの大きな事業、確認申請の必要な建物ということで、大きな税収になるのはわかるのですが、やはり税を払う者にしては大きな額だと見込まれますので、いろいろな形で模索をしてですね、今後こういうクラスター事業をどんどんどんどん利用する、ふえてきます。そこら辺も含めて、そういう税収のあり方について、行政側として考えていただければなと思っております。

○議長（宮川 寛君） 佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治君） 議員御存知のとおり、さらに新年度予算ですとか決算ですとかそういった中で、陸別町の財政状況というものを御説明申し上げていると思っております。税収自体がこういう2,500ぐらいの人口の中で、町税と固定資産税関係、額はありますけれども、極めて、陸別町は交付税に50%以上依存しているという状況がございますので、できるだけ歳入の確保をとる部分も実はあると、これも御理解をいただきたいというふうに思っております。

そういったことも含めて、先ほど担当課長が答弁したとおり、今後調査をしてみたいとそういうように思っております。

以上です。

○議長（宮川 寛君） 7番、谷議員。

○7番（谷 郁司君） ただいまの、先の議員の質問と重複するかもしれませんが、私この事業に関してお聞きしたい点、三つほどございます。というのは、この事業を

進める上で、先の9月の定例会の時に、決められた中で、先ほどの説明では一部28年度施工で後は繰り延べで29年度にやるというのですけれども、その9月の時に一応国の内示であるいは道経由でくる形で当議会としてそれを承認したわけなのですけれども、28年度で施工できなかったのかなと思うのですけれども、それがなぜ故に29年度に繰り延べされたのか、その辺と、今回、新しくまたクラスター事業で4,000万円の予算がついたわけなのですけれども、聞くところによりますと、北斗牧場というのは今どきの法人格の中で進められている牧場で、個人経営といえば個人経営なののですけれども、その中で補助残について、ここにもありますように9,000万円ですね、その9,000万円はどういう形で負担するのかなと。例えば、自己資金というのものもあるし、融資というのものもあると思うのですけれども、その辺についてどういう対応でされる見込みなのか、話し合いとしてどういうふうに担当のほうとして押さえているのか、その辺の点をお伺いしたいと思います。

それから、今質問にもありましたように、こういう事業で、当町のやはり、副町長も言いましたように、歳入について厳しいものもある中で、こういうものについては負担をしてもらおうと言いましたけれども、やはりこういう産業を振興する上で1億の投資をしたとなれば、そういう資産が固定的にできたとなれば140万円入るのですよね。減価償却で毎年減っては行くけれども。だから、先ほど8億というその計算をしていくと、かなりの額が固定資産税として納められるというか、負担させていくということになれば、当然それに見返る町の産業振興の施策として、法律上これはさっき言った100分の1.4なののですけれども、決めるとなればまた議会の中の議決もあろうかと思うけれども、なかなか国の決めたものについては特例というのはあまりないような気がするけれども、各ほかの町村見ますと、減免という方法もとっているし、それからそれに見合ったような政策というのですか、対策というのを簡単に言えば借り入れした分についての利子補給をすることかという、そういう感じの、やはり産業振興のために僕は必要ではないかと思うのですよね。やはり、今後いろいろな形でクラスター事業がされるわけなのですけれども、8億という形が陸別にもたらされて、あるいは今後個人経営で有限あるいは株式であってもなくても、必要とする人たちも出てくると思うのですよね。そうなれば、相当なやはりクラスター事業が今後見込まれる中での、自己負担分を軽減するための施策というのは必要ではないかと思うのですけれども、その辺についての考えを伺いたいたいと思います。

○議長（宮川 寛君） 副島産業振興課長。

○産業振興課長（副島俊樹君） ただいまの三つの御質問にお答えします。

まず、1点目なののですけれども、当初計画を道経由で国に出す際には、単年度事業ということで申請をしますが、日程的、又は事業の量によっては単年度では済まないような形にもなってきますので、今回につきましては取組主体農協の哺育舎、育成舎については一部29年度施工ということで、現在道に対しても変更の申請をしているところでございます。

それと、北斗牧場の関係の補助残につきましては、これは取組主体の融資などで賄う予定となっております。

それと三つめにつきましては、先ほどの多胡議員の御質問にもありましたように、今後いろいろ調査をしていきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（宮川 寛君） 7番、谷議員。

○7番（谷 郁司君） 必ずしも予算がついたからその年内にしなきゃならないという形ではないと思いますけれども、簡単に言えば当町はそれなりに寒冷地帯であり、事業を進めていく上で一部やって後は暖かくなったら、簡単に言えば繰り越しですから4月以降早急に取り組めば夏場に進めると、事業主自体もあるいはそれを施工する業者も、きちっとしたものを施工するという点については僕はいいと思います。ただし、つかみの中で、こなさないとだめだということで、上からというか国や道から何か言われたいのかなと思います、心配しましたので質問したのですけれども、その辺をクリアできるのであればそういう形で進めていくという形で、多分今回の北斗牧場の件についても、これは多分つかみ的には28年度だと思えるのですけれども、これも繰り延べでいくということですから、取組主体、事業者も安心しながら1年、期限はどれくらいあるのかわかりませんが、答えていただければ。いつまでにしなければならぬというのがあればお願いします。

それと、先ほども言いましたようにやはり固定資産税、ざあっと計算しただけでも1,200万円くらい、固定資産税が入るのであれば、先ほども説明があったように融資するとなれば必ず金利がある、無利子ということはあり得ないと思うので、その辺の利子補給等も考えなければならぬと思うのですけれども、もう一度御答弁願いたいです。

町長か、あるいは副町長でお願いします。

○議長（宮川 寛君） 佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治君） 先ほど言いましたように、9月定例会の分、農協が主体となっている部分、北斗牧場の部分は国の28年度補正予算でついているのですね。したがって、当然、国が補正予算で見ているということは単年度ではなかなか期間的に厳しいという認識を持っているはずですから、当然国のほうも繰越明許をかけると、ということで私も理解しています。

だから、国に反して町が陸別町としてやるのではなくて、あくまで国の考え方も踏まえて、道の考え方も踏まえて、繰り越し明許費で予算を計上すると。北斗牧場の期限については29年度中ということになります。北斗牧場のやつは。29年度中ということになります。それから、自己資金の融資を受けた場合の関係ですけれども、先の議員にも答弁させていただきましたけれども、財政的な問題ももちろん陸別町にございますし、あと他町の事例だとか、どういう方策があるのかですね、やるやらないは別にしても調査をしたいと、そのように思っております。

以上です。

○議長（宮川 寛君） 7番、谷議員。

○7番（谷 郁司君） 今の副町長の答弁を聞いていますと、やはり陸別の産業振興という、第一次産業であります酪農、いま主力で進めているということについての、振興策としての考え方というのをきちっとやはり持って、できるだけ農家の負担を減らしながら、せっかく国の補助事業が出てますので、草地事業なんかは当然、国の補助が出た分については、道の補助があったり、あるいは町もそれに見合ったようにしているという形からいけば、こういう事業、先ほども質問しましたけれども、クラスター事業に取り組むのは、こういう農協や、あるいは大型ではなくて個人的な形で進める人も、いわゆる要望としてあると思うのですよね。そういった面についての施策として、クラスター事業にまつわる町の施策として、独自の考え方を持ってほしいと思うのですけれども、その辺について町長の考えを伺いたいと思います。

○議長（宮川 寛君） 野尻町長。

○町長（野尻秀隆君） 先ほどからの答弁で私も同じ考えをしてるわけなのですが。この事業自体が国から補助を受けて、そういういろんな意味を含めての補助があって行っている事業だと、そういった意味合いもあると思います。ただ確かに質問のとおり、その事業において税も結構な数字になる、それは大体つかみでわかるのですが、そこら辺今の副町長の説明のとおり、いろいろ、これから各ほかの町村の事例もありますので、そこら辺を調査していきたいなと思っております。産業振興の一環としてということで、その意味合いもよくわかりますので、それも含めて調査検討していかなければならないのかなど、そんなふうに思います。できるできないは別としまして、そういうことでございます。

○議長（宮川 寛君） 6番、渡辺議員。

○6番（渡辺三義君） 2点ほどお伺いします。一応、確認事項ということで。事業主体はクラスター協議会、取組主体は北斗牧場ということで、着工から竣工までこれは全て北斗牧場ということでよろしいですか。

それと、あと今回、家畜飼養管理施設牛舎1棟ですか、1,005.94平米の建物が建てられるのですが、これ何頭ぐらい収容できるのか、その辺2点お伺いしたいと思います。

○議長（宮川 寛君） 副島産業振興課長。

○産業振興課長（副島俊樹君） ただいまの2点の御質問でございますけれども、取組主体が北斗牧場さんということで施工契約等は北斗牧場さんが中心となって行いますが、一部農協さんですとかホクレンさんに依頼をして、設計、積算ですとかそういった部分が出てくると思います。

入札についても基本は北斗牧場が行いますが、手続き等については農協さんに依頼するというようなことも考えられます。

それと、牛舎の規模でございますけれども、予定では80床ということで、80頭規模の牛舎を予定しております。

以上です。

- 議長（宮川 寛君） これで第1条の質疑を終わります。
次に第2条繰越明許費の補正について質疑を行います。
4ページを参照してください。
ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

- 議長（宮川 寛君） 質疑なしと認め、これで終わります。
これから、討論を行います。
討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

- 議長（宮川 寛君） 討論なしと認め、これで終わります。
これから、議案第1号平成28年度陸別町一般会計補正予算（第10号）を採決します。
お諮りします。
本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- 議長（宮川 寛君） 異議なしと認めます。
したがって、議案第1号は、原案のとおり可決されました。

◎閉会宣告

- 議長（宮川 寛君） これで、本日の日程は全て終了いたしました。
会議を閉じます。
平成29年陸別町議会第1回臨時会を閉会します。

閉会 午前10時31分